

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立鶴山中学校

<p>教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒 夢や目標を持ち、進んで学習する生徒 仲間を信頼し、感謝の気持ちが表現できる生徒</p>	<p>今年度の指導の重点</p> <p>学習しつけの徹底を図る。 授業改善を推進する。 規範意識の向上と基本的生活習慣の徹底を図る。 家庭学習の推進を図る。 小中連携を推進する。 地域・保護者がランティアの推進を図る。 特別支援教育の推進を図る。</p>
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語・数学のA問題、B問題共に、全国・県の水準を大きく下回っていた。 学習指導要領の「書くこと」の領域は、全国平均との差が縮まっている。 「数学の勉強は好きである。」という割合が県・全国の平均を上回っている。</p> <p>国語A: 話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する問題。(本校55.1%、県74.8%) 国語B: 本やインターネットの内容から適切なものを選択する問題。(本校38.0%、県56.5%) 数学A: 分数の除法の計算( <math>3/4 \div 5/6</math> ) (本校89.7%、県85.1%) 数学B: 図形の性質を、構想を立てて証明する(2つの線分の長さが等しいことの証明)問題。(本校14.1%、県36.5%)</p> <p>県 社会・理科は、県の平均をやや下回っている。 国語・数学は、県の平均を下回っている。 国語の「漢字の読み」、社会の「外交史」、数学の「図形」、理科の「電流のはたらき」などの分野は、県の平均を上回っている。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日テレビやDVDを観る時間が2時間以上の生徒が6割以上である。 平日ゲーム、インターネットやメールをする時間がそれぞれ2時間以上の生徒が4割をこえている。 家庭学習時間(塾を含む)が、2時間以上の生徒は、平日は県の平均時間より高いが、土日は県の平均時間より低い。 「ものを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか。」「自分には、よいところがあるか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」などの項目は、県の平均を上回っている。 読書が好きな生徒の割合が県平均を上回っている。 「友だちに伝えたいことを上手く伝えることができる。」「友だちの話や意見を最後まで聞く。」などの項目は、県平均を下回っている。 学習塾に通っている生徒の割合が県の平均を上回っている。 家で宿題はしているが、復習をしていない生徒の割合が、60%を越えている。 運動会や参観日に参加する保護者の方の割合が、県の平均を上回っている。</p>
<p>成果と課題</p> <p>国語、数学ともに活用型の問題を苦手としている。 文章で解答する問題に対して無解答率が高い。 数学が好きな生徒の割合が高い。 テスト週間では、家庭学習時間が増え、テレビ等の視聴時間が減った。 学習時間が増えている。 「自分によいところがある。」と回答する生徒が多い。 各教科が好きと回答した割合が高い。 いじめは絶対にいけないと思っている生徒の割合が97%以上である。</p>	<p>課題に対応した改善方法</p> <p>数学・英語における習熟度少人数指導を充実させ、コースに合わせた適応問題を単元ごとに位置づける。 授業の中で自分の意見発表を行う場面を増やし、他に伝えあう言語活動を充実させる。 全学年5教科において「自主学习ノート」の取り組みを実施している。 9月末から、月2回3年生を対象に「土曜日学習会」を行い受験の意識を高める。 授業の中で、「本時の目標」の提示と、「本時のまとめ」を意識する。 教科で正答率の低い分野は、類似問題の授業での活用や定期テストへの出題などを行う。 長期休業中の学習を「出前講座」「質問教室」「補充教室」等で充実させる。</p>
<p>取組の検証方法及び検証時期</p> <p>中2に学力定着状況たしかめテストの実施(11月) 児童生徒への授業アンケートの実施(学期ごと) 授業自己評価シート、小テストなどの活用(授業ごと) 上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。</p>	<p>達成目標(数値目標)</p> <p>数学、国語の平均正答率で県平均を上回る。 「各教科の授業がわかる」と回答する生徒の割合を県平均以上にする。 家庭で学校の授業の復習をして、知識の定着を図る。(目標値50%以上)</p>